

生きいき



輪投げゲームでPR 甲斐市わくわくフェスタ

8頁	事務局からのお知らせ
7頁	・甲斐路 ・会員のひろば
6頁	・発注者からひとこと ・私たちの奮闘記
5頁	・職場班訪問 ・PR活動
4頁	・各種講習会
3頁	・理事研修 ・平成26年度事故発生状況 ・中長期計画策定始まる
2頁	・平成26年度地区会議 ・一般労働者派遣事業経過

目次

公益社団法人 峡中広域シルバー人材センター

〒400-0115
山梨県甲斐市篠原2644番地3
TEL 055-279-6626
FAX 055-279-6620
<http://www.kyochu-sjc.jp/>
E-mail: kyochu@sjc.ne.jp
会員数 870人 (3月1日現在)
(男性 609人、女性 261人)

良いサービスをお客様に

届けることを確認

平成26年度地区会議

平成26年度の地区会議を1月24日から2月5日までの間、12地区が5会場に分かれて開催しました。中央市では玉穂地区、田富地区、豊富地区が初めて合同で開催しました。事業実績や事故内容と各地区の活動実績を報告し、会員の理解と協力を要請しました。

この地区会議は、毎年、センターの活動状況や会員相互の情報交換など、地区ごとに会員の生の声を聞き、センターの事業運営に生かしていくことを目的に、各地区の理事や班長が中心となって開催されています。

会議では、事務局から平成26年度センター事業状況や事故状況、



合同で開催した中央市地区会議

今年度実施したアンケートの集計結果についての報告。また、各地区からは親睦活動についての報告や女性部から講習会の案内がありました。

事業状況について従来の請負事業に加え、今年度から始めた派遣の内容についても報告を行い、事故状況報告では、重篤事故が発生したことをうけ、事故の再発防止のため、「安全は全てに優先する」ことを参加した会員は再認識しました。発注者アンケート結果では、良いサービスを適正な価格で提供することにより、リピーターとなってくれており、今後も地域に認められるためには、会員一人ひとりが常にシルバー人材センターの代表ということを自覚し、就業に当たらなければならな

いことを確認しました。

また、地区会議の参加率が年々低下しています。大勢の会員が参加し、活発な地区活動が望まれます。

一年を経過した

一般労働者派遣事業

平成26年度から一般労働者派遣事業を開始しました。開始初年度4月から12月の実績として二千万円程の発注を頂きました。

派遣事業開始初年度という事から請負・委任の受託業務では継続受注の難しかった運転業務や食品関連業務を労働者派遣事業に移行しました。

派遣会員の方々は受託事業と比べ契約更新の手続きが多くなり戸惑いもあつたかと思いますが、発注先の理解のもと八割程度の受注が、契約の停止とならず派遣契約に移行しました。

今後、派遣法の大幅な改正や労働安全衛生法の適用など様々な問題を抱えており連合会とも協議を行い受注体制の強化を図る必要があります。また、請負・委任の受託事業では受注できなかった作業について労働者派遣事業で契約し

会員の就業機会の拡大に努めてまいります。

今後の目標・施策を示す

中長期計画策定始まる



理事長から委嘱を受ける委員

センター運営の将来展望のための中長期計画の策定に着手しました。昨年9月には委員会を発足し、11人の委員が理事長から委嘱されました。

さつそく第1回の委員会が開催され、計画骨子、スケジュール、役割分担、予算概要が決定され、現在は理事部会ごとに、会員拡大、就業拡大、運営体制充実等の計画が話し合われています。平成27年度には完成し、計画書は全会員に配布される予定です。

安全就業の徹底を

平成26年度事故発生状況

平成26年度2月までの事故発生状況は、傷害事故3件、損害事故8件の11件となっております。

傷害は、就業中に脚立から転落し死亡する重篤事故が発生してしまいました。対策を検討するなか安全就業基準の遵守徹底が決定されました。今後の事故防止に協力をお願いします。

損害は、昨年に続き草刈作業会員安全教育実施要領に基づき講習

会等を通じ事故防止を図りましたが、刈払機による事故が3件発生しております。原因は事前に手刈を行う事やネット等安全対策の不徹底のため発生しています。

また、植木剪定作業中の事故も3件発生し安全委員会等で、検討し必要な指導を行っています。

重大な事故が発生しますと、一番大変な思いをされるのは、被害者はもとより会員とご家族です。「安全は全てに優先する」この事を再確認し安全就業の徹底をお願いします。

事故発生件数の推移

平成27年2月末日現在

年度	会員数 (人)	就業 実人員 (人)	事故発生件数				
			傷害事故			損害 事故	合計
			途上	就業中	小計		
23	899	835	2	6	8	7	15
24	881	813	2	3	5	5	10
25	884	797	1	1	2	7	9
26	870	695	0	3	3	8	11

傷害事故発生状況

事故の種別	事故の内容	件数
転落	脚立から転落し頭部を強打	1
	脚立から転落し脚部を強打	1
接触	頭部を突起物に接触させ裂傷	1
合計		3

損害事故発生状況

事故の種別	事故の内容	件数
除草作業	刈払機の飛散物でガラスを破損	1
	刈払機によるケーブル切断	2
	自走式の芝刈機で放水栓を破損	1
植木作業	道具を接触させ建物・車両を損傷	3
カート回収	カートをお客様の車に当て損傷	1
合計		8

東久留米市SCに学ぶ

理事研修



中里副会長から説明を受ける理事

昨年11月27日、理事・職員16人で東久留米市シルバー人材センターへ研修に行きました。

東久留米SCは会員、契約金額共に当センターの1.5倍の実績があるセンターで女性会員が43%を占めています。

公平・適正就業の取組みとして短期間でローテーションを行い、更に会員自ら就業マニュアルを作成し対応していました。

理事と地域班長とのネットワークを構築して連絡を密にし、更に、学校、河川清掃、踏切事故防止等のボランティア活動が16種類以上

を数え、積極的に取り組んでいました。

全般的に、先進的な取組みをしておりますセンターでも取組む内容が沢山あることが分かりました。

事務局と会員の橋渡し 地域班長連絡会議

年4回会員理事14人、地域班長竜王地区9人、敷島地区6人、双葉地区3人、玉穂地区2人、田富地区5人、豊富地区1人、昭和地区4人が出席し会議を開催します。

活動内容は、定時総会や普及啓発活動などセンターの事業活動への協力と、会報や通知文の配布など事務局と会員との橋渡しを行っています。



第1回地域班長連絡会議

各種講習会

植木剪定 「新人育成」安全講習会

9月24日午前中、甲斐市敷島総合公園において植木剪定「新人育成」安全講習会が会員8人の参加で開催されました。

甲斐市造園組合会長の武藤洋一様を講師に迎え、植木管理の基礎(初心者 実技) について講習が始まり、まずは安全第一ということと、ヘルメットの着用方法、安全ベルトの付け方、腰周り(ハサミ・のこぎり)の順序、脚立の安全設定、刈込み時の基本などを教えていただきました。



講師の指導を受ける参加者

実技講習では刈込みハサミを使っての刈込み作業を行い、なれないハサミの重さ、植え込みの正確な刈込みに苦労しました、また

立ち木の剪定においては、依頼者の要望を確実に作業出来るよう丁寧に、キレイに仕上げるようにと指導を受けました。
最後に、後片付けが一番大事なとの指導がありました。

公共施設就業説明会 接遇講習会



会場いっぱいの参加者 (甲斐市)

平成27年度の公共施設配置について就業説明会を実施しました。

中央市では12月3日、11日の2日間で総勢78人。甲斐市では12月17日、24日の2日間で総勢312人の会員が参加しました。

同時に開催した接遇講習会では、講師の梶中理事より公共施設での接遇の大切さについて話があり、参加した会員の方々は熱心に耳を傾けていました。

女性部手芸講習会

女性会員同士の交流と情報交換のため、会員や一般の方を交えて12月2日に手芸講習会を開催しました。センター女性部手芸班の会員が講師となり、合計50人の参加があり、10班に分かれ和気あいあいと根付け飾りを作成しました。
楽しかった、次回も参加したい、就業とは別に女性対象講習会を計画して欲しい等の意見が出ました。



笑顔の講習会参加者

三門松作り講習会

三門松作り講習会が、12月24日竜王南部公民館、12月25日玉穂総合会館で開催されました。竜王会場16人、玉穂会場9人の参加がありました。

敷島地区井上正一会員を講師に迎え、コマの網目を詰めてしつかりするそろえ方、しゆる縄での結び方、竹の大小小による左右のそろえ方等、教えていただきました。
ここまでくると松、梅、南天、扇など挿して完成です。3時間位で立派な門松が出来上がりました。



飾り付けを行う参加者 (竜王会場)

出張入会説明会

10月8日に中央市立豊富中央公民館、10月22日に昭和町総合会館で入会説明会を開催しました。

広域センターのため、入会者の利便性を図るために実施しました。両日で12人の参加者があり、移動手段が自転車なので助かった等の話がありました。

PR活動・職群班

就業・会員拡大に向け 各地区でPR活動

4月29日中央市れんげ祭り、10月12日昭和町ふるさとふれあい祭り、10月19日甲斐市わくわくフェスタ、11月3日中央市稲穂祭りのそれぞれの会場において、地域の役員が中心となり、輪投げゲームや鉢花の配布を行いセンターのPR活動を実施しました。

どの会場においても多くの家族連れの方々喜んでいただけました。

また、梨北農協との共催で開催した第六回コスモス花見会の会場においてもPR活動を実施しました。今年度はPRと同時に地域住民アンケートを行い、地域の方々の意見を聞き今後の事業運営に反



10/4 コスモス花見会

映していきます。

また、10月30日に管内スーパー10カ所及び竜王駅前において三枚のチラシやティッシュの配布を行いました。

このような活動を通じ、シルバー人材センターの名前が地域に浸透していき就業・会員拡大に繋がっていくよう今後も継続してPR活動を実施していきます。



10/30 街頭PR(昭和地区)



11/3 中央市稲穂まつり

職場班訪問

竜王地区

赤坂台総合公園維持管理グループ

ジョギングや散歩、芝生広場や子ども広場の利用、富士山をはじめ景観を楽しむ等多くの利用者が来園される赤坂台総合公園(ドラゴンパーク)で就業するグループが赤坂台総合公園維持管理グループです。

グループは園内清掃5人、トイレ清掃3人、公園施設管理4人の合計12人で構成され、それぞれがローテーションで、園内清掃は2人、他は1人ずつと、毎日4人で就業しています。

月に一度集まりミーティングを行い、就業の悩みや問題点をみんなで相談し、解決するようにしていました。園内清掃の会員はゴミ一つ落ちていないように注意深く清掃し、公園利用者に気持ち良く来園してもらおうように心がけているそうです。トイレ清掃の会員は清掃後の花一輪を心掛けていて、これも来園者のことを思って自分たちで工夫して考えたそうです。お盆もお正月も就業することは大変だけれど、継続して管理するこ

とで、いつ来園してもらってもきれいに利用できるようにしているとのことでした。

来園者のことを思うグループの皆さんの心がけのおかげで、県内外の来園者から「こんなに管理が行き届いた公園はない」とお褒めの言葉をいただくこともあるそうです。

夏の暑さ、冬の北風のすこさなど大変なことも多いが、春夏秋冬の季節感が感じられることや、何より来園者に喜ばれることがうれしく思うとのことでした。

(石坂)



月1回のミーティングに集まる就業会員

私たちの奮闘記

発注者からひとこと

就業機会開拓

推進員を受けて

敷島地区 神山 緑

「種を撒き、育て、刈る作業の「撒く」仕事をやって頂きます。」から始まったこの仕事ですが、やり始めると結果を求めてしまう試行錯誤でした。

公民館でのチラシ配り、団地等のポスティング、見てもらえるチラシにするのは・・・等々。

特に大変だったのはポスティングです。足が棒になる程歩いても思った程配布できない時は、疲れ



春先の植木の

消毒を依頼

竜王地区 幡野 昭美

竜王に移り住んでから26年が経ち、小さかった庭の植木も、大きく育ちました。

ある年、サコケとアメリカシロヒトリが、大発生しました。今まで消毒に使っていた道具では、大きくなった木には、届かなくなっていました。

頭をかかえていると、知人が



写真左が神山さん

だけが残り明日への元気が出ない時もあり、「今日は疲れたね・・・足が痛いね・・・」と帰宅した日々。それでも、入会説明会で参加者が「開拓推進員の話聞いて参加

「シルバー人材センターへ聞いてみたら」と、教えてくれました。早速連絡をしたところ、その日の夕方に、植木の様子を見に来て下さり、「明日の朝一番で、消毒をしますから」との事で、トントンの拍子で問題が片付きました。費用も、良心的で安心してお願いできました。

それ以来、春先の植木の消毒をお願いしますようになりました。これからも、よろしくお願います。

「シルバー人材センターへ聞いてみたら」と、教えてくれました。早速連絡をしたところ、その日の夕方に、植木の様子を見に来て下さり、「明日の朝一番で、消毒をしますから」との事で、トントンの拍子で問題が片付きました。費用も、良心的で安心してお願いできました。

笑顔いっぱい植木班

敷島地区 深沢 甲一

「声が聞くと、もつと頑張らなければと元氣になれたことも確かでした。但し、残念なのは結果が見えない現実です。私たちの仕事はこれで終わりですが、育てることも継続していただければ苦労した甲斐があります。

私達敷島植木班は総勢7名で活動をしています。朝7時半に依頼者宅に集合し、作業の段取りを行います。高い場所での作業が多いので、いつも安全第一を心がけて



おります。時には伐採もありますのでより一層の注意を払います。寒い時期での作業は手足が冷たく辛いし、高い木の手入れは脚立の昇り降りが大変です。でもそういう時には皆で声をかけ合って励まし合いながら和気あいあい仕事を進めます。

私達の楽しみは何と言っても昼休みの時間です。弁当を広げながらの談笑はそれは楽しいものです。1日の仕事が終わるに依頼者に喜んでいただき「また来年も宜しくお願いしますね」の声を聞くと疲れもいつべんに吹き飛んでしまいます。

これからも植木班の仲間達と楽しく仕事が続けられたらとても嬉しいです。

会員のひろば

ロマンドール人形(春のおとずれ)

玉穂地区 小池 晴美

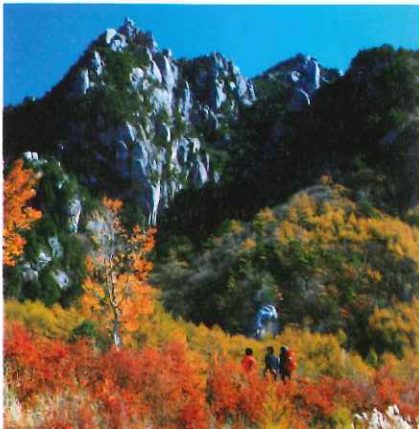
紙粘土を細工して人形の形に作り色を塗り乾かしてニスを塗ります。20年以上作っており100以上あります。優しい眼差しに癒されます。



写真 晩秋の山麓(瑞牆山)

竜王地区 岡田 泰文

写真は高校時代から始めました。一時は記念写真だけでしたが、20年位前から風景写真を再開しました。写真コンテストで入賞は500回を超えます。



私の健康法

健康の源は

身近な物の工夫



敷島地区 長田 恵子

幼いころから薬嫌いで、具合が悪くなっても医者を頼らず自然と治るのを待つという習慣でした。幸いなことに今まで大病もせず現在に至っています。私なりに信念がありまして、病は先人から教わった知恵と食のこだわりで治ると思っっているのです。

根拠の一つは、遡ること二十数年前の出来事です。毎日頭痛に悩まされていた頃、さすがに怖くなり友人に相談しました。病院に行くことも勧められましたが、「納豆を食べてみたら」の一言で納豆を試すことに決めました。以来食べ続けて、気がついたら頭痛はどこかに。後に、納豆のネバネバ菌が血液をサラサラにして血管の掃除してくれるとのことでした。二つ目は五十代に入る頃から血

圧が高く始まり始めました。先人の知恵を借り干した玉ねぎの皮を煎じて毎日愛飲しています。お蔭様で血圧は安定し熟睡も出来、更に血管の壁も強くなっているように感じます。これからも身近なものの工夫で健康管理を心がけいつまでも若々しく元気に毎日を過ごしたいと願っています。



写真手前が干した玉ネギの皮

甲斐路

ふるさとの祭り (3)

「下福沢の道祖神祭」

敷島地区

道祖神祭は小正月の行事として五穀豊穰・無病息災・子孫繁栄の願いを込めて新暦14日の宵から15日にかけて行われる行事です。下福沢の場合は青年会が中心になって14日に「どんど焼き」・「七福神のねりこみ」が、15日には「氏子めぐり」が行われます。なお近年は、14・15日に近い土・日に実施されることが多くなっています。

特に「七福神のねりこみ」は有名でどんど焼きが終わると青年会の人たちが七福神などに扮

し、神官を先頭に「あーめでたいな、めでたいな。ドウソジンの先立ちで、七福神が乗り込んだ、あーめでたいな」などと言いながらねりこみがおこなわれます。このねりこみは前年に家屋を新築した家、長男が結婚あるいは42歳の厄年を迎えた家を回り、笛・太鼓の音とともに家の中に入り、祝いのユーモラスある口上と舞いを披露し、悪魔祓いをします。

翌日には「氏子まいり」が行われ青年長先頭におかめ、ひよつとこに扮した青年会のメンバーがお札を各戸に渡していきます。

(甲斐市ホームページより)

事務局からのお知らせ

発注者（一般家庭）アンケート結果

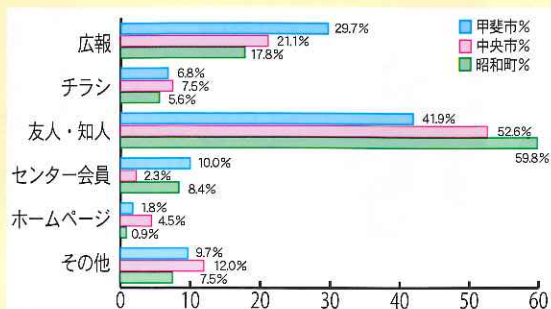
【調査の目的】

この調査はシルバー人材センターの就業に関して、発注者がどのような感想を持っているのかを把握するとともに、就業開拓を目的に実施しました。

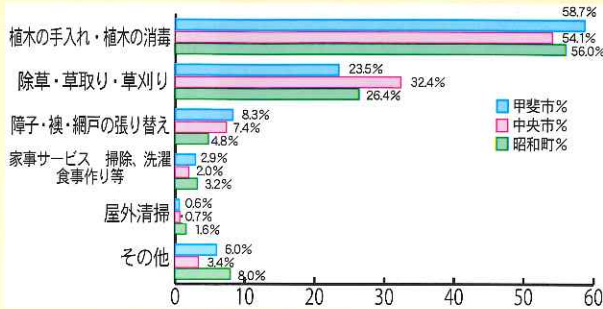
【対象者】

平成25年度発注者から抽出1,000件（公共・民間を除く）

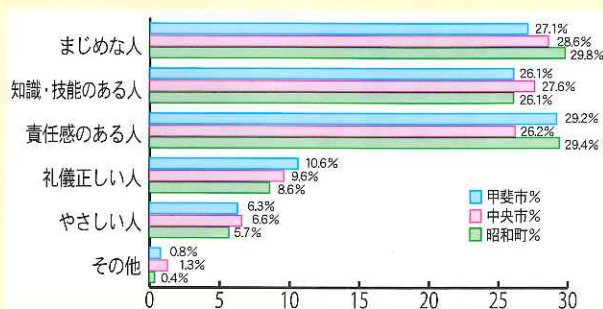
1. シルバー人材センターに仕事を頼んだきっかけは何ですか



2. 今回シルバー人材センターに頼んだ仕事は何ですか



3. 会員(作業する人)に求めるものは何ですか。(複数選択可)



【まとめ】回収率も半数を超え、料金・仕上がり・作業期間とも普通と良いがほとんどをしめ、感謝の言葉も多数寄せられ、基本的には発注者に喜ばれている印象を受けました。

ただし、苦情・要望等も寄せられ、少数意見にも耳を傾け改善すべき点は改善する必要があります。

主な苦情 人により仕事のレベルに差がある
しっかりした人を回してほしい
作業する人によって時間が違う
仕事をもう少し丁寧に

主な要望 定期的に管理してほしい
高齢者のため、事故には十分気をつけてほしい
あいさつをきちっとして欲しい

その他 シルバー人材センターの存在意義は大きい
こういう組織があることはいいことだ

各小学校に交通安全旗寄贈

コスモス花見会収益金

コスモス花見会も第6回を迎え、双葉地区会員が丹精こめて栽培管理したコスモスが咲き誇る中、餅つきや甲斐市マスケットキヤラクターの「やはたいぬくん」による甲州弁ラジオ体操ステージパフォーマンスで会場を盛り上げ、盛大に開催されました。

また、一部収益金で管内小学校へ交通安全旗の寄贈も今年で5回目となり、関係機関から大変喜ばれました。



中央市笹本昇教育長に寄贈する南理事

今後の予定

○平成27年度定時総会

日時 6月2日(火)

午後1時30分

場所 昭和町総合会館

やむを得ず欠席する場合は、議決権行使書または委任状の提出をお願いします。

編集後記

「家事援助サービス」の講習会に参加したことがあります。男性は私一人でした。

1週間の日程で各学科に専門の講師の方が来て、介護入門、認知症サポート、高齢者疑似体験、救急法、清掃のコツ、調理実習など教えてもらいました。

特に参考になったのが高齢者の救急法のAEDによる実習と調理実習でした。今まで料理をあまりしたことがなく味付けは勉強になりました、今では料理をするのが楽しみです。

これからますます高齢化社会が進むのは確実です、自分の親は自分で看たいものです。そのためにも家事援助の知識は勉強したほうが良いと思います。男性の皆さん積極的に参加しましょう。

(伊藤)

編集委員

- 畠中 久男・中島 紀佐夫
- 伊藤 龍彦・石坂 とし子
- 深沢 積善
- 小宮山俊彦・小田切まり子